

平成30年度第3回 「歳を重ねてからの過ごし方」について 市政モニターの意見の樹

とにかく家族の負担になりたくない！！

(枝・葉)根、幹から派生する意見						
●サービスが整えば在宅で過ごせる				●後の人の負担をひとつでも減らしたい		●「まだ」と思っている
私は、夫と一緒にいられ て幸せでした	在宅医療だとわがままが 言える	健康寿命を延ばす努力 が必要	本人の意思を尊重したい	エンディングノートは、残 された家族のためになる	終活は、残る人のための ものである	エンディングノートを書く のはまだ早い
ケースバイケースだが、 選択肢の一つとして知っ てほしい			家族の介護はなるべく自 分でやりたい	エンディングノートは、あ らかじめまとめておくことよ い	終活は、若い頃から必要 である	民生委員やケアマネが、 話題の一つとして活用す ることがある
(幹)中心になる考え方						
●家族に迷惑をかけたくない						
		自宅に居たいが、迷惑を かけるから居られない	人の世話になること→す ごくマイナスのイメージ	みんなが思う不安→自分 の手で世話をすること(介 護等)		
			できていたことができなく なる→すごくマイナスのイ メージ	病院や施設であっても、 結構手間はかかる…		
(根)根底にある気持ち						
●家が一番	●設備が整っているほう が安心	●在宅医療は、よく分か らない	●扶養意識が薄れている		●死に関する話はタブー になっている	●生きているのに意志疎 通ができない状態を想定 していない
住み慣れた場所で、最期 を迎えるのが一番安心	病院や施設の方が環境 が整っている	在宅医療の費用が分か らない	正直、今の家族を中心に 考えてしまう	自分の子供と親を天秤に かけると、子供を優先して いる	介護について、今は考え たくない	意思が伝えられない状態 があることを初めて考え た
私は静かに最期を迎えたい	在宅医療は、自宅に居ら れてうれしいが、急変が 不安	在宅医療の知識がない	仕事や子育てがあると、 そちらを優先してしまう	付きっきりで介護できない	大切なこととは分かって いるが、避けている	その時になってみないと 分からない
		在宅医療＝寝たきりのイ メージ	そもそもコミュニケーション が少ない	介護に重いイメージ		